

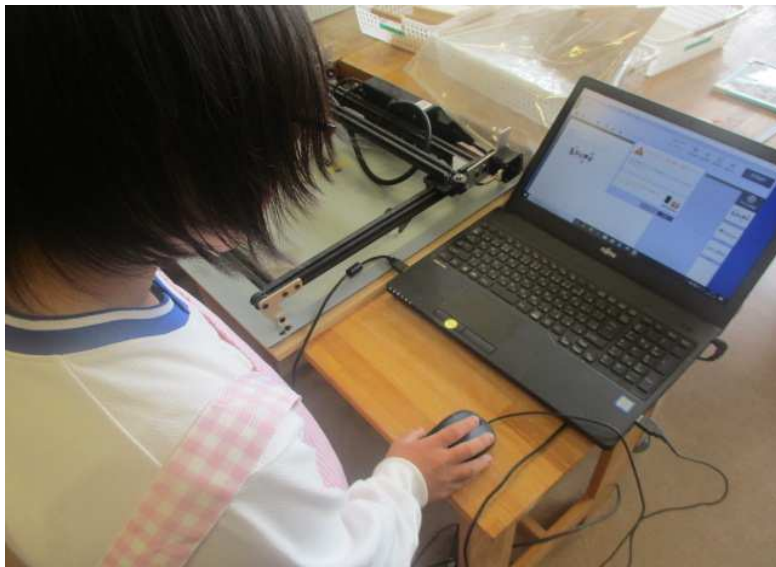
令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立浜名特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立浜名特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	125人

1. 使用状況

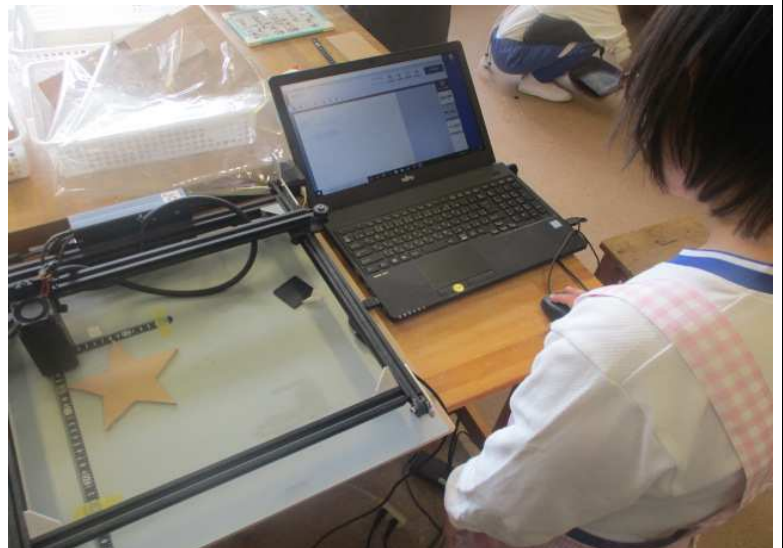
寄贈物品名	レーザーカッター
使用学年及び人数	中学部作業学習 木工班 7人
使用頻度	週5日×2か月×3回 ※作業学習单元の中で使用している。
使用状況	今年度は中学部木工班の作業学習で使用している。作業学習は、单元時に毎日70分間の作業を行っている。作業学習時に生徒が操作できるように、作業室へパソコンとレーザーカッター本体を設定し、教師と一緒に生徒パソコンを操作して、簡単な文字やデザインを入力し、レーザーカッターへ出力している。
物品の使用による変化や効果	手書きでは表現できない文字やデザインをパソコンに入力することにより、製作への意欲が以前よりも増した。さらに、製品にひと手間加えることにより、製品への愛着度が増し、販売への意欲も高まっている。また、パソコンの基本操作の習得も学習効果としてある。
今後の活用の見通しや課題	今後は作業学習のみでなく、美術作品のキャプションや来客用の案内表示など、生徒による校内整備の一環としても活用していきたい。
その他希望や所感など	本製品の使用頻度が高く、追加購入を希望したところ、一クラス上の製品を寄贈していただけることになり、創作意欲が増している。

2. 活用の様子



作業室内に設置されたパソコンを使って文字やデザインの入力をしている様子。

パソコンを使用してレーザーカッターへ情報を送っている様子。



レーザーカッターを活用しての製品の数々。